

「オンライン日本映画祭 2022」作品ラインナップが決定 世界 25 か国へ日本映画 20 作品を配信



「オンライン日本映画祭 2022」メインビジュアル

URL : <https://jff.jpj.go.jp/watch/jffonline2022/>

国際交流基金（JF）は、世界 25 か国を対象に「オンライン日本映画祭 2022」を 2022 年 2 月 14 日（月）から 2 月 27 日（日）に開催します。このたび配信作品ラインナップを発表します。

2 回目の開催となる「オンライン日本映画祭 2022」では、最新作からクラシックまで、日本を堪能できる 20 作品を取り揃えました。2021 年に日本で劇場公開され、大きな話題を集めた『すばらしき世界』や『あのこは貴族』、『サマーフィルムにのって』をはじめとする新作に加え、『相撲道～サムライを継ぐ者たち～』や『ラーメンより大切なもの 東池袋大勝軒 50 年の秘密』といった日本文化を映し出すドキュメンタリー、日本映画が海外進出するきっかけになったとされる黒澤明監督の不朽の名作『羅生門』のほか、アニメーションでは吉浦康裕監督が手掛けた『イヴの時間 劇場版』『サカサマのパテマ』の 2 作品など、バラエティに富んだ日本映画をお届けします。

開催国の視聴者は、日本映画発信ウェブサイト「JFF+」上で本映画祭を無料でお楽しみいただけます（日本国内からは作品視聴不可）。

「JFF+」公式 YouTube アカウントでは、新たにフェスティバル・トレーラーも公開中です（<https://youtu.be/MDf2w3f6b3Q>）。さらに映画祭期間中には、作品配信だけでなく、監督やキャストを招いたインタビューをはじめ、世界各国でさまざまなイベントも企画しています（詳細は後日映画祭ウェブページで発表）。どうぞご注目ください。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

■ 視聴者へ向けたメッセージ

「コロナ禍の今、世界中で多くの人々が苦しみや悲しみ、孤独と戦っています。このような状況の中、JFFでは、日本映画が少しでも皆さんの気持ちを癒せるよう、さまざまな作品の上映や配信を予定しています。今回、オンライン日本映画祭2022では最新作からクラシックまで20作品を選定しました。

四季折々の景観、見た目にも美しい色とりどりの日本食、伝統から現代へ変わりゆく社会、時空を越えた創造の世界など、さまざまな日本の世界を堪能してもらうことで、視聴者の皆さんの気持ちが少しでも晴れ、一人でも多くの方が、またいつの日か日本を訪れるという夢を持つきっかけとなれば嬉しく思います。」（許斐雅文/JFFプロデューサー）

■ 作品ラインナップ（全20作品、国内劇場公開順）

タイトル（和・英）	監督	公開年	ジャンル
サマーフィルムにのって It's a Summer Film!	松本壮史	2021	ドラマ
いとみち Ito	横浜聡子	2021	ドラマ
あのこは貴族 Aristocrats	岨手由貴子	2021	ドラマ
すばらしき世界 Under the Open Sky	西川美和	2021	ドラマ
AWAKE AWAKE	山田篤宏	2020	ドラマ
相撲道～サムライを継ぐ者たち～ SUMODO～The Successors of Samurai～	坂田栄治	2020	ドキュメンタリー
みをつくし料理帖 Mio's Cookbook	角川春樹	2020	時代劇
仮面病棟 Masked Ward	木村ひさし	2020	スリラー
オズランド 笑顔の魔法おしえます。OZLAND	波多野貴文	2018	ドラマ
ReLIFE リライフ ReLIFE	古澤健	2017	ドラマ
湯を沸かすほどの熱い愛 Her Love Boils Bathwater	中野量太	2016	ドラマ
サカサマのパテマ Patema Inverted	吉浦 康裕	2013	アニメーション
ラーメンより大切なもの 東池袋大勝軒 50年の秘密 The God of Ramen	印南 貴史	2013	ドキュメンタリー
のぼうの城 The Floating Castle	犬童一心・樋口真嗣	2012	時代劇
ツナグ Until the Break of Dawn	平川雄一郎	2012	ドラマ
しあわせのパン Bread of Happiness	三島有紀子	2012	ドラマ
イヴの時間 劇場版 Time of EVE the Movie	吉浦 康裕	2010	アニメーション
南極料理人 The Chef of South Polar	沖田修一	2009	ドラマ
ハッピーフライト Happy Flight	矢口史靖	2008	コメディ
羅生門 RASHOMON	黒澤明	1950	クラシック

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

■ 「オンライン日本映画祭 2022」開催概要

事業名称： オンライン日本映画祭 2022 (JAPANESE FILM FESTIVAL ONLINE 2022)

主 催： 国際交流基金 (JF)

共 催： 日本国大使館

実施期間： 2022年2月14日 (月) ～ 2月27日 (日)

配信作品： 全20作品

配信媒体： 日本映画発信ウェブサイト「JFF+ (ジェイエフエフ・プラス)」 (運営：国際交流基金)

<https://jff.jp.go.jp/watch/jffonline2022/>

視 聴 料： 無料 (視聴に際してはユーザー登録が必要です。なお、日本からの視聴はできません)

開 催 国： 韓国、インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、インド、パキスタン、ネパール、バングラデシュ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、エクアドル、ペルー、イタリア、スペイン、ドイツ、ハンガリー、エジプト (全25か国)

字幕言語： 英語、韓国語、インドネシア語、クメール語、タイ語、ベトナム語、マレー語、ミャンマー語、スペイン語 (南米)、ポルトガル語、イタリア語、スペイン語 (スペイン)、ドイツ語、ハンガリー語、アラビア語 (最大15言語)

JFF+公式 YouTube： <https://www.youtube.com/c/JFFPlus>

※ 日程・プログラムの内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※ 国によって一部作品は配信対象外となります。

■ 本件関連資料

ロゴやメインビジュアル等の画像データは以下 URL からダウンロードいただけます。配信作品スチルについては、一部提供可能なものもございますので、掲載希望の場合は問い合わせ窓口までご連絡ください。

<https://i-imageworks.jp/iw/Pu/Public.do?pid=445146547944375855494d3d>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当：熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

■ JFF (Japanese Film Festival)

JF が 2016 年に「JFF アジア・パシフィック・ゲートウェイ構想」事業として ASEAN 10 개국およびオーストラリアを対象に発足した日本映画祭「JFF (Japanese Film Festival)」。2017 年度には中国とインド、2018 年度にはロシアと対象国と規模を拡大し、2019 年度は 12 개국 56 都市でリアルな映画祭を実施し、年間 17 万人以上を動員。2020 年度は、リアルとオンラインの両軸で日本映画を届け、はじめての開催となった「オンライン日本映画祭 2020-2021」では世界 20 개국から計 22 万回以上の視聴を記録した。

**■ 日本映画発信ウェブサイト「JFF+」 (<https://jff.jp.go.jp/>)**

「日本映画って何だろう？」という問いを掲げ、日本映画の魅力を、英語を中心とした多言語で世界中に発信するメディア。最新の日本映画ニュースやインタビューや対談等ユニークな特集記事を発信する「Read」、海外向けの日本映画専門のストリーミング配信プラットフォーム「Watch」、JF が実施する日本映画祭 (JFF) の最新情報やアーカイブを届ける「Join」という 3 つのセクションから構成。

**■ 国際交流基金 (JF) について (<https://www.jp.go.jp/j/index.html>)**

JF は世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。1972 年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003 年 10 月 1 日に独立行政法人となりました。海外に 24 개국・25 の拠点をもち、「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ」をミッションに掲げ、世界の人々と日本人の間で相互の理解を深めるため、さまざまな企画や情報提供を通じて人と人との交流をつくりだしています。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当：熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp